

生き物調査隊事業で確認された生物

石川雄登¹⁾ 佐々木秀恭¹⁾ 坪輝磨¹⁾ 越後優斗¹⁾ 上山魁仁¹⁾ 上山誠仁¹⁾
中岡利泰²⁾ 高木大稔²⁾

はじめに

えりも町郷土資料館主催事業「生き物調査隊」でシトウ（悲恋沼）とその周辺の生物調査を実施したので、確認された生物について、ここに報告する。

シトウの自然環境

シトウは周囲約450m、水深は深いところでも約130cm。底は、ほとんどが泥質で、岸際の一部が砂質である。流入する河川はなく、周囲の湿地から浸出している。流出箇所が1ヶ所あり、コンクリート製の柵が設置され、水位が保たれている。

周囲にはヨシ、ミズゴケ類などが生息し、水生植物としてはヒルムシロ、車軸藻の仲間が確認されている。

水中にはミズカマキリ、ゲンゴロウなどの水生昆虫や、環境省絶滅危惧種に指定されているニホンザリガニが生息している。

魚類では、ペットが廃棄放流されたメダカ（山川2012）、キンギョが確認されているが、2016年以降キンギョは確認されていない。（高木私信）

また、移入種として考えられるオオタニシ、マルタニシ、ドブガイが確認されている。

調査方法

調査地を図1に示した。シトウ（A）の生物、百人浜オートキャンプ場（B）の昆虫類について調査した。また、苔別川（C）の魚類についても調査したので、報告する。

調査は、2018年3回（6月30日、7月16日、8月18日）、2019年3回（5月19日、7月7日、8月17日）、2020年3回（7月23日、8月29

日、9月5日）の計9回実施した。

調査日と調査地は表1に、調査地の環境を図2に示した。

各回2名以上の複数名で昆虫類は虫網、魚類・水生昆虫・水生生物は直径40cm未満のタモ網を用いて捕獲し、記録後、昆虫・水生昆虫は乾燥標本、貝類は貝殻を乾燥標本にし、その他は写真撮影後、再放流した。

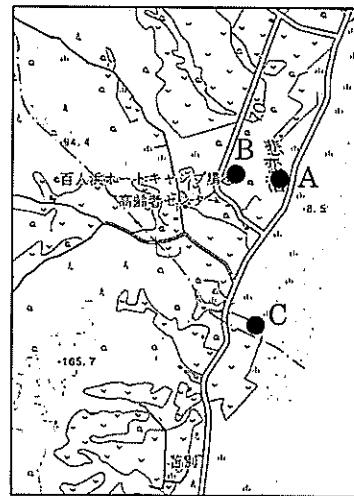


図1 調査地

A：シトウ、B：百人浜オートキャンプ場、
C：苔別川

結果

本報告で確認された生物は両生類2科2種、魚類8科9種、昆虫類37科68種、甲殻類1科1種、貝類3科4種、環形動物1科1種であった。

確認された85種について、調査地域とともに一覧を表2に示した。

レッドリスト記載種

本調査において確認されたレッドリスト記載種について表3に示した。なお、メダカ、マルタニシ、オオタニシは人為的な移入種である可能性

1)えりも生き物調査隊 2)えりも町郷土資料館

が高いこと（山川 2012）（中岡 2020）から、リストから除いた。

環境省レッドリストと北海道レッドリストは、分類カテゴリーが異なることから、併記した。

環境省カテゴリーの絶滅危惧Ⅱ類(VU)は2種、準絶滅危惧種(NT)は4種、計6種が確認された。また、北海道カテゴリーにのみ含まれるものは、希少種3種が確認された。

まとめ

本調査確認された生物のうち、ショウジョウトンボは北海道のトンボ図鑑によると遇産種とされており、1957年に函館で単発的な記録があるのみで、その後長年にわたり道内での記録がなく（広瀬 2007）、2007年頃から道南や道央圏で生息が確認されつつある種である。

また、苫別川でのヌマガレイの発見は、この川の河口を歩いて渡る際に「すながれい」（話者のよび方）が飛ぶとの話があり（えりも昔語りを記録する会 2007）、当時から苫別川河口にはカレイ類が生息していることがわかる、歴史的背景からも貴重な記録である。

シトウには、メダカ、オオタニシ、マルタニシ、ドブガイなどの外来種が持ち込まれ、定着しているが、現在のところ周辺の生態系への影響は確認されていない。しかし、影響が確認されれば駆除が必要になる。環境省レッドリスト記載種6種、北海道レッドリスト記載種3種（環境省レッドリスト記載種との重複種を除く）が生息し、シトウ周辺は生物の多様性が維持されている。今後も外来種のモニタリングを継続し、シトウの多様な生物を保全していくことが重要である。

文献

- 山川雄大 (2012) えりも町悲恋沼からメダカの個体群を確認 えりも研究第9号 P:1-4
- 中岡利泰 (2020) 北海道えりも町悲恋沼 名の由来について ～ アイヌ語「シトウ」を使おう！ えりも研究第17号 P:19-31
- 広瀬良宏 (2007)・伊藤智・横山透 (2007) 北海道のトンボ図鑑
- えりも昔語りを記録する会 (2007) 「えりも昔語り記録集 潮風とともに」
- 北海道動植物種名目録 (2016 暫定版) 北海道環境局環境政策課

参考HP

- 環境省レッドリスト (2015)
<http://www.env.go.jp/press/101457.html>
- 北海道レッドリスト (2001)
<http://rdb.hokkaido-ies.go.jp/>

表1 調査日、調査地

調査日	調査地
2018年	
6月30日	シトウ、百人浜オートキャンプ場
7月16日	シトウ、百人浜オートキャンプ場
8月18日	シトウ、百人浜オートキャンプ場
2019年	
5月19日	シトウ
7月7日	シトウ、苦別川
8月17日	シトウ
2020年	
7月23日	シトウ
8月29日	シトウ
9月5日	シトウ

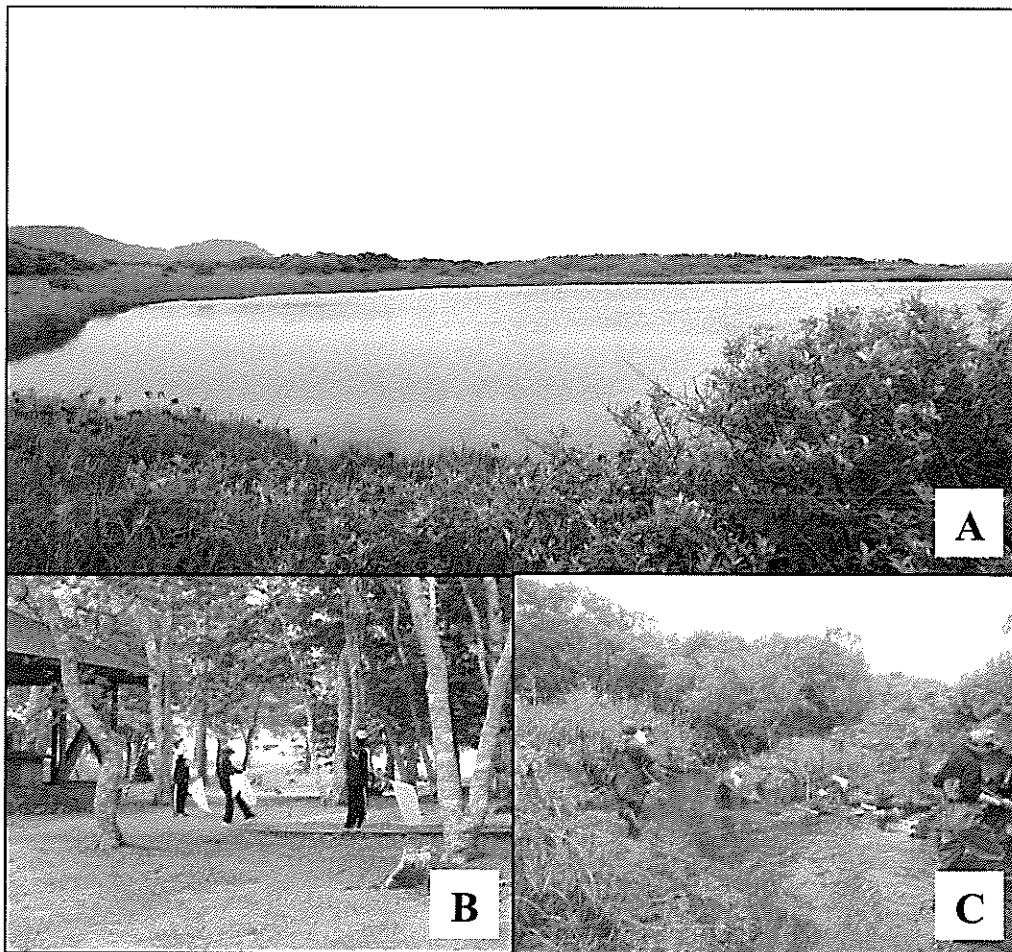


図2 調査地の環境 A:シトウ B:百人浜オートキャンプ場 C:苦別川

表2 本調査で確認された動植物

本調査（2018年6月30日~2020年9月5日）で確認された動植物を記載した。
分類、配列は北海道動植物種名目録（2016年暫定版）を参考にした。

表中のアルファベット A、B、C は生物を確認した場所。図2の調査地点と対応する。

●両生類

		無尾目	
		アマガエル科	
1	ニホンアマガエル（幼体）	<i>Hyla japonica</i>	A
2	ニホンアマガエル（幼生）	<i>Hyla japonica</i>	A
		アカガエル科	
3	エゾアカガエル（幼生）	<i>Rana pirica</i>	A

●魚類

		ヤツメウナギ目	
		ヤツメウナギ科	
4	ヤツメウナギの仲間	<i>Lethenteron</i> sp.	A
		コイ目	
		コイ科	
5	ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	C
		サケ目	
		サケ科	
6	アメマス	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	C
		ダツ目	
		メダカ科	
7	メダカ	<i>Oryzias latipes</i>	A
		トゲウオ目	
		トゲウオ科	
8	イトヨ	<i>Gasterosteus aculeatus</i>	C

		カサゴ目	
		カジカ科	
9	ハナカジカの仲間	<i>Cottus</i> sp.	C
		スズキ目	
		ハゼ科	
10	ウキゴリ	<i>Chaenogobius annularis</i>	C
11	シマウキゴリ	<i>Chaenogobius</i> sp. 1	C
		カレイ目	
		カレイ科	
12	ヌマガレイ	<i>Platichthys stellatus</i>	C

●昆虫類

		鞘翅目	
		ミズスマシ科	
13	オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i>	A
14	ミヤマミズスマシ	<i>Gyrinus reticulatus</i>	A
		ゲンゴロウ科	
15	キベリクロヒメゲンゴロウ	<i>Ilybius apicalis</i>	A
16	ゲンゴロウ	<i>Cybister japonicus</i>	A
		オサムシ科	
17	エゾクロナガオサムシ	<i>Carabus arboreus arboreus</i>	B
18	ゴミムシの仲間	<i>Carabidae</i> sp.	B
		エンマムシ科	
19	エンマムシの仲間	<i>Histeridae</i> sp.	B
		シデムシ科	
20	ヨツボシヒラタシデムシ	<i>Dendroxena sexcarinata</i>	A
21	オオヒラタシデムシ	<i>Eusilpha japonica</i>	A
		クワガタムシ科	
22	ミヤマクワガタ	<i>Lucanus maculifemoratus</i>	A
		センチコガネ科	
23	オオセンチコガネ	<i>Phelotrupes auratus</i>	A
24	センチコガネ	<i>Phelotrupes laevistriatus</i>	A

		コガネムシ科	
25	スジコガネ	<i>Anomala testaceipes</i>	B
26	ハナムグリ	<i>Eucetonia pilifera</i>	B
27	アオドウガネ	<i>anomala albopilosa</i>	B
		ホタル科	
28	オバボタル	<i>Lucidina biplagiata</i>	B
		ジョウカイボン科	
29	ジョウカイボン	<i>Lycocerus suturellus</i>	B
		テントウムシ科	
30	シロジュウシホシテントウ	<i>Calvia (Anisocadvia) quatuordecimguttata</i>	B
31	シロトホシテントウ	<i>Calvia (Calceorhopalum) decemguttata</i>	B
32	ナナホシテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>	B
		アカハネムシ科	
33	アカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa vestiflua</i>	B
		カミキリムシ科	
34	ヨツスジハナカミキリ	<i>Leptura ochraceofasciata ochraceofasciata</i>	B
35	シラホシカミキリ	<i>Glenea relictata relictata</i>	B
		ハムシ科	
36	ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>	A
		蜻蛉目	
		アオイトトンボ科	
37	アオイトトンボ	<i>Lestes sponsa</i>	A
38	オオアオイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>	A
39	オツネイトンボ	<i>Sympecma paedisca paedisca</i>	A
		イトトンボ科	
40	エゾイトトンボ	<i>Coenagrion lanceolatum</i>	A
41	ルリイトトンボ	<i>Enallagma boreale circulatum</i>	A
		ヤンマ科	
42	ルリボシヤンマ	<i>Aeshna juncea</i>	A
43	オオルリボシヤンマ	<i>Aeshna nigroflava</i>	A
44	ギンヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>	A
		トンボ科	
45	ヨツボシトンボ	<i>Libellula quadrimaculata asahinai</i>	A
46	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	A

47	ショウジョウトンボ	<i>Crocothemis servilia mariannae</i>	A
48	シオヤトンボ	<i>Orthetrum japonicum japonicum</i>	A
49	ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>	A
50	コノシメトンボ	<i>Sympetrum baccha matutinum</i>	A
51	ナツアカネ	<i>Sympetrum darwinianum</i>	A
52	マユタテアカネ	<i>Sympetrum eroticum eroticum</i>	A
53	ヒメアカネ	<i>Sympetrum parvulum</i>	A

鱗翅目

シロチョウ科

54	モンキチョウ	<i>Colias erate poliographus</i>	B
55	エゾスジグロシロチョウ	<i>Pieris (Artogeia) napi nesis</i>	B

シジミチョウ科

56	ゴマシジミ	<i>Maculinea teleius ogumae</i>	B
----	-------	---------------------------------	---

タテハチョウ科

57	ヒョウモンチョウ	<i>Brenthis daphne iwatensis</i>	B
58	ヒメアカタテハ	<i>Cynthia cardui</i>	B
59	ウラギンヒョウモン	<i>Fabriciana adippe pallescens</i>	B

ジャノメチョウ科

60	クロヒカゲ	<i>Lethe diana diana</i>	AB
61	ジャノメチョウ	<i>Minois dryas bipunctata</i>	B
62	サトキマダラヒカゲ	<i>Neope goschkevitschii</i>	B
63	オオヒカゲ	<i>Ninguta schrenckii</i>	AB

セセリチョウ科

64	コキマダラセセリ	<i>Ochlodes venata herculea</i>	B
----	----------	---------------------------------	---

シャクガ科

65	ヒロオビトンボエダシャク	<i>Cystidia truncangulata</i>	B
66	エダシャクの仲間	<i>Ennominae sp.</i>	B

メイガ科

67	キバラノメイガ	<i>Omiodes noctescens</i>	B
----	---------	---------------------------	---

スズメガ科

68	モモスズメ	<i>Marumba gaschkewitschii echephron</i>	B
----	-------	--	---

半翅目

アメンボ科

69	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>	A
----	------	---------------------------------	---

ミズムシ科

70 コミズムシ *Sigara (Tropocorixa) substriata* A

タイコウチ科

71 ミズカマキリ *Ranatra chinensis* A

72 ヒメミズカマキリ *Ranatra unicolor* A

マツモムシ科

73 マツモムシ *Notonecta (Paranecta) triguttata* A

直翅目

バッタ科

75 ツマグロバッタ *Stethophyma magister* A

ツユムシ科

76 エゾツユムシ *Kuwayamaea sapporensis* A

キリギリス科

77 ウスイロササキリ *Conocephalus chinensis* A

シリアゲムシ科

78 シリアゲムシの仲間 *Panorpidae sp.* A

ヒゲナガカワトビケラ科

79 チャバネヒゲナガカワトビケラ *Stenopsyche sauteri* A

蜉蝣目

チラカゲロウ科

80 チラカゲロウ *Isonychia japonica* A

●甲殻類

エビ目

アメリカザリガニ科

81 ニホンザリガニ *Cambaroides japonicus* A

●貝類

原始紐舌目

タニシ科

82 マルタニシ *Cipangopaludina chinensis laeta* A

83 オオタニシ *Cipangopaludina japonica* A

イシガイ目
イシガイ科

84 ドブガイ *Anodonta woodiana* A

マルスダレガイ目
マメシジミ科

85 マメシジミの仲間 *Pisidium* sp. A

●環形動物

吻無蛭目
チスイビル

86 チスイビル *Hirudo nipponica* A

表3 本調査で確認されたレッドリスト記載動植物

番号	種名	レッドリスト分類	
		環境省(2020年)	北海道(2001年)
13	オオミズスマシ	準絶滅危惧(NT)	
15	キベリクロヒメゲンゴロウ	準絶滅危惧(NT)	
16	ゲンゴロウ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	希少種(R)
38	オオアオイトンボ		希少種(R)
51	ナツアカネ		希少種(R)
53	ヒメアカネ		希少種(R)
56	ゴマシジミ	準絶滅危惧(NT)	留意種(N)
57	ヒョウモンチョウ	準絶滅危惧(NT)	留意種(N)
81	ニホンザリガニ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	

